

ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション国際世論調査

「エンド・オブ・イヤーサーベイ2017」

58か国グローバル調査

調査結果

株式会社 日本リサーチセンター

◆「エンド・オブ・イヤーサーベイ」レポート

株式会社日本リサーチセンター（本社：東京都中央区、代表取締役社長 鈴木稲博）が加盟しているギャラップ・インターナショナル・アソシエーションでは、昨年10月から12月にかけて世界58カ国の人々を対象に国際世論調査「エンド・オブ・イヤーサーベイ」を実施しました。

この度、その調査結果がリリースされましたので、日本の属性別調査結果を加えて、日本版レポートを発表いたします。ご高覧いただければ幸いです。

注1：比率（％）は、各国の人口に比例した重みを付けて集計を行っています（ウエイト集計）

注2：比率（％）は、四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならないところもあります

「エンド・オブ・イヤーサーベイ」は1977年にジョージ・ギャラップ氏により開始され、以降毎年、世界各国で実施しています（今回が41回目となります）。また、本調査にあたってはWIN(Worldwide Independent Network Of Market Research)と提携して実施しています。

◆ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション

1947年にジョージ・ギャラップ氏とヨーロッパの仲間によって設立され、現在はオーストリアに本部があります。現在世界の40カ国でメンバーを持ち、世界の多くの国で世論調査や市場調査を実施しています。

※なお、米国調査会社Gallup, Inc.とは関係ございません。

◆株式会社日本リサーチセンター（NRC）

1960年に設立された民間の調査研究機関です。

民間企業、官公庁からの受託調査・研究及び自主企画調査を国内外問わず実施しています。

ギャラップ・インターナショナル・アソシエーションには日本で唯一の代表として1968年に加盟しました。

1) 2018年が2017年より「良くなる」は、世界全体で40%、日本では22%

- 2018年が2017年より良くなるかどうか質問した結果は、日本では、「変わらない」と答えた割合が42%と多く、「良くなる」は22%と少ない。
- 世界全体では、「良くなる」と答えた割合が40%で最も多い。
- 世界と比較すると、日本の回答は、「良くなる」と「悪くなる」が少なく、「変わらない」と「わからない」が多くなっている。
- そのため、「良くなる」と「悪くなる」の差は、世界では差が大きく、「良くなる」が「悪くなる」を17ポイント上回るが、日本は10ポイント。

2) 2018年が2017年より「景気が良くなる」は、世界全体で28%、日本では13%

- 自国の2018年の景気が2017年より良くなるかどうか質問した結果は、日本では「景気は良くなる」と答えた割合が13%に留まる。
- 世界全体では、「(2018年の景気は) 変わらない」が36%で最も多い。「景気は良くなる」「景気は悪くなる」はいずれも3割程度。
- 世界と比較すると、日本では「わからない」の割合が20ポイント近く多く、また「変わらない」も10ポイント多い。
- 「良くなる」と「悪くなる」の差は、世界では-2ポイント、日本では-4ポイントと、いずれも差は小さい。

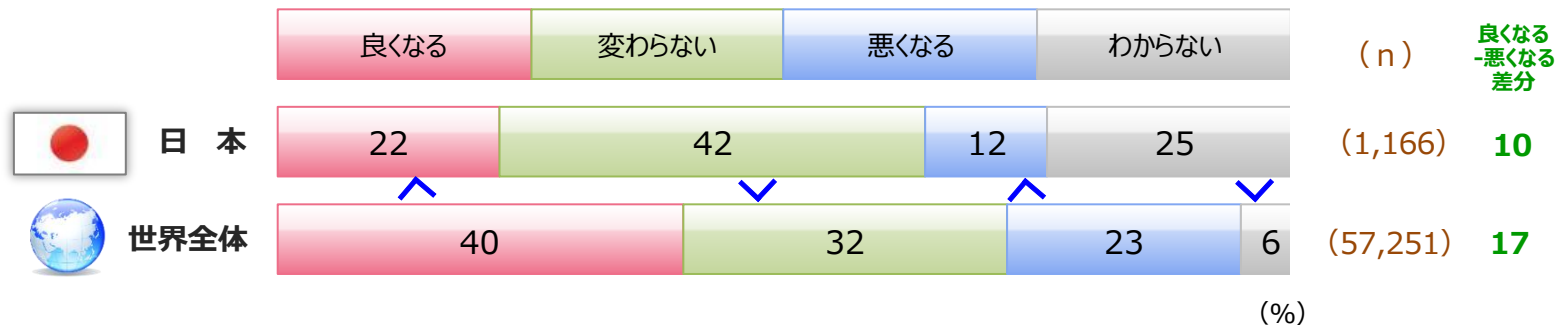
3) 自分の人生が「幸せ*」と感じる人は、日本も世界全体も6割程度。 *幸せ：「とても幸せ」と「幸せ」の計

- 自分の人生が幸せかどうかを質問した結果は、日本も世界全体も「幸せ*」が約6割で大差がない。
- 日本では、良い年の見通しや景気予想についてはポジティブな回答が少なかったが、幸せ感では約6割がポジティブな回答を示した。

2018年が2017年より「良くなる」は、世界全体で40%、日本では22%

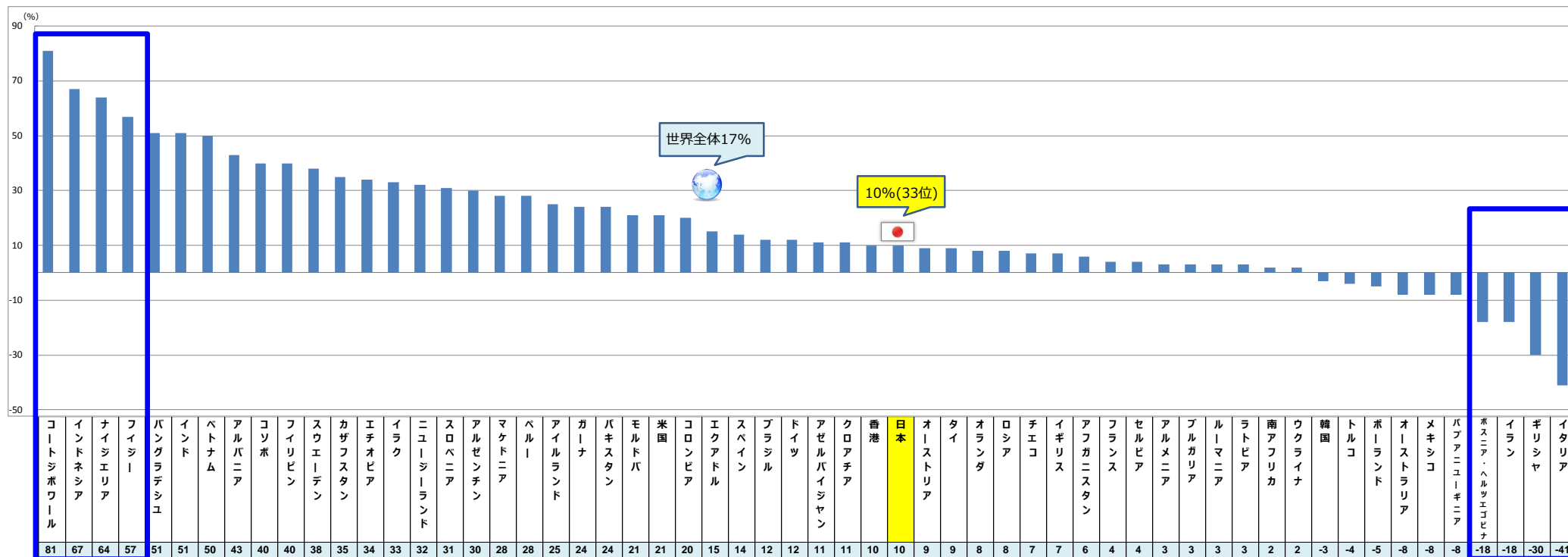
- 2018年が2017年より良くなるかどうか質問したところ、日本では、「変わらない」と答えた割合が42%と多く、「良くなる」は22%と少ない。
- 世界全体では、「良くなる」と答えた割合が40%で最も多い。
- 世界と比較すると、日本の回答は、「良くなる」と「悪くなる」が少なく、「変わらない」と「わからない」が多くなっている。
- そのため、「良くなる」と「悪くなる」の差は、世界では差が大きく、「良くなる」が「悪くなる」を17ポイント上回るが、日本は10ポイント。

Q あなたご自身は、2018年は2017年より「良い年になる」、「悪い年になる」、「変わらない」のいずれだと思いますか。(単数回答)

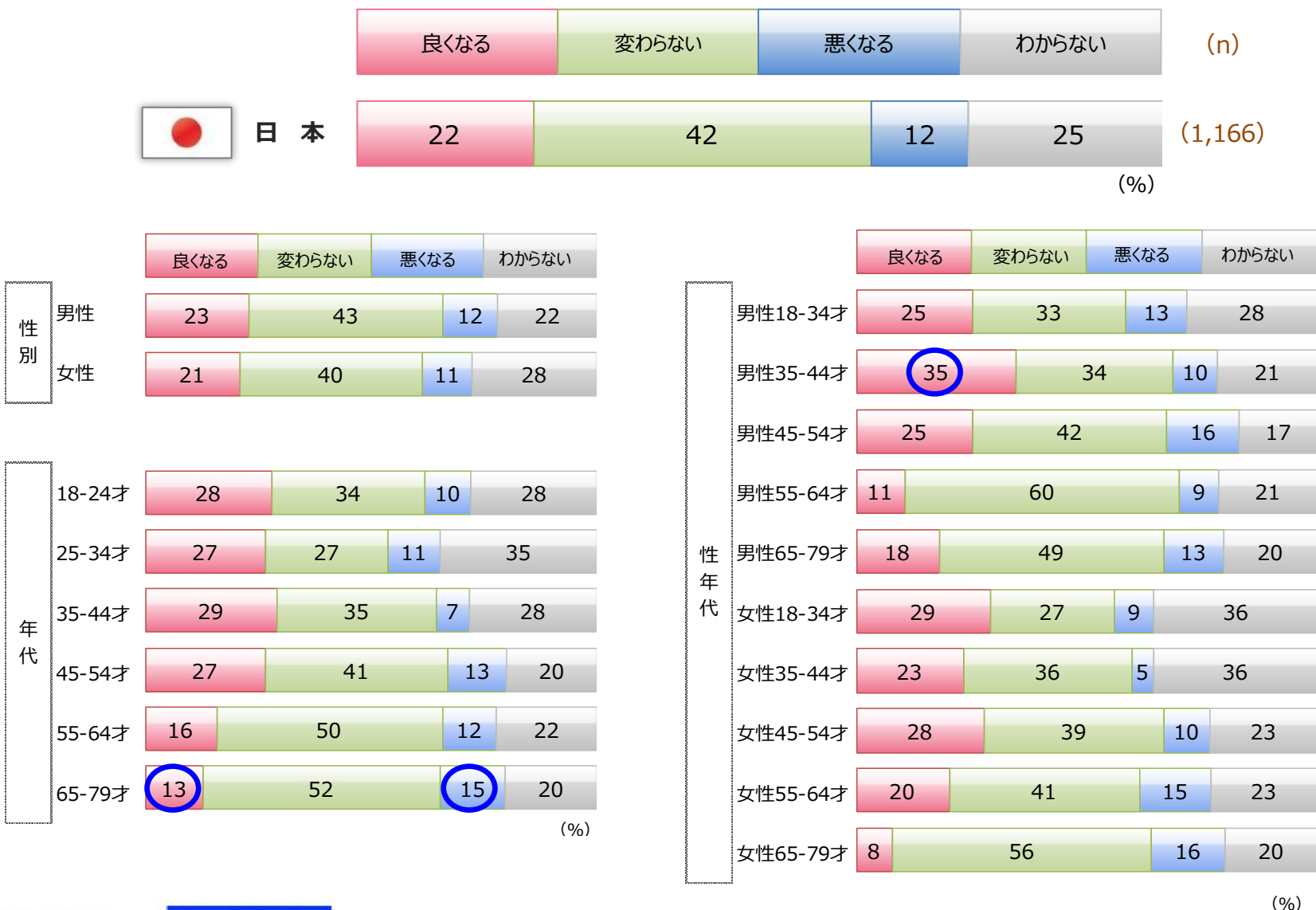


- 2018年が2017年より「良くなる」と「悪くなる」と答えた割合の差の大きい順に並べてみると、上位4か国は、コートジボワール、インドネシア、ナイジェリア、フィジーの順。一方、下位4か国は、イタリア、ギリシャ、イラン、ボスニア・ヘルツェゴビナとなっている。
- 日本は58か国中33位。

■ 各国の「良くなる」-「悪くなる」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）



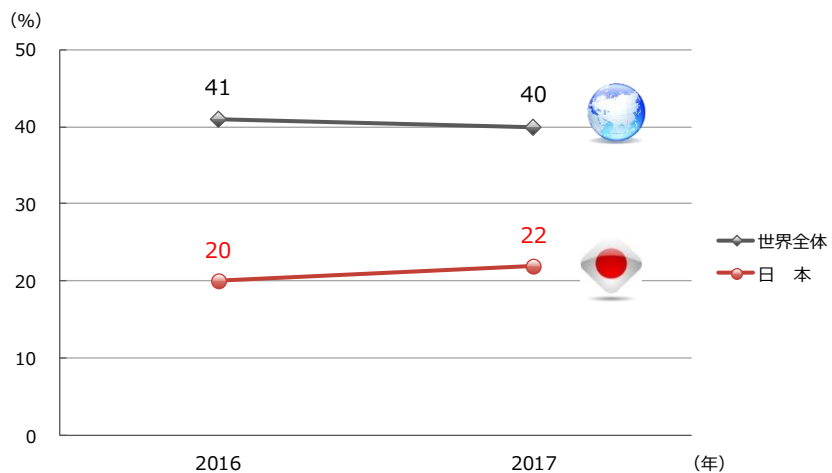
- 日本の結果を年代別にみると、65才以上で、「悪くなる」の割合が「良くなる」の割合を上回る。
- 性年代別にみると、男性35-44才で、「良くなる」の割合が3割以上と、他の性年代と比べて多い。



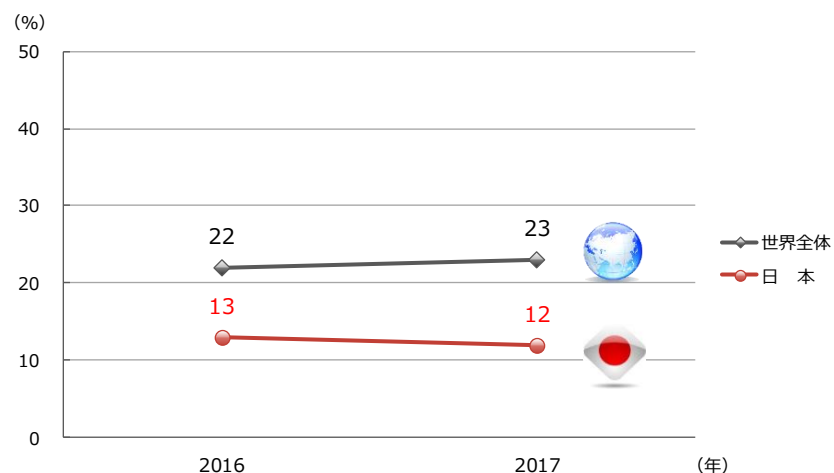
- 2018年が2017年より良くなるかどうかの質問を前回（2016年）と比べてみると、世界全体では2018年が2017年より「良くなる」「悪くなる」と答えた割合はほぼ変わらない。
- 日本では、2018年が2017年より「良くなる」と答えた割合は、前回（2016年）と比べて2ポイントの微増。

Q あなたご自身は、2018年は2017年より「良い年になる」、「悪い年になる」、「変わらない」のいずれだと思いますか。(単数回答)

「良くなる」回答比率推移(世界全体、日本)



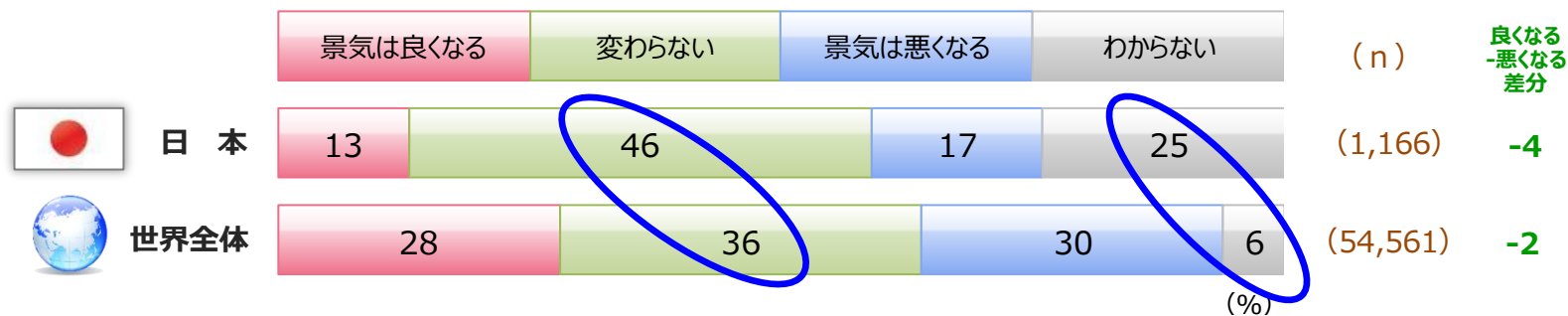
「悪くなる」回答比率推移(世界全体、日本)



2018年が2017年より「景気が良くなる」は、世界全体で28%、日本では13%

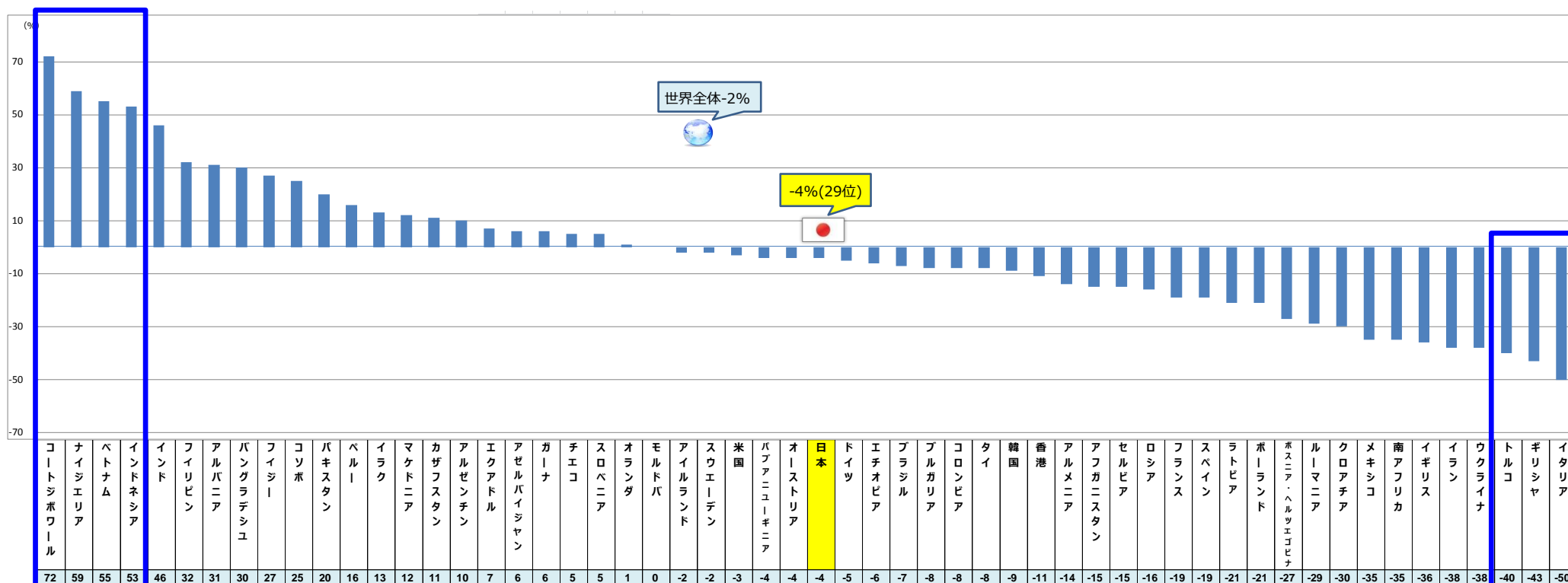
- 自国の2018年の景気が2017年より良くなるかどうか質問したところ、日本では「景気は良くなる」と答えた割合が13%に留まる。
- 世界全体では、「（2018年の景気は）変わらない」が36%で最も多い。「景気は良くなる」「景気は悪くなる」はいずれも3割程度。
- 世界と比較すると、日本では「わからない」の割合が20ポイント近く多く、また「変わらない」も10ポイント多い。

Q 日本（自分の国）では2017年に比べて、2018年の景気が「良くなる」、「悪くなる」、「変わらない」のいずれだと思いますか。（単数回答）

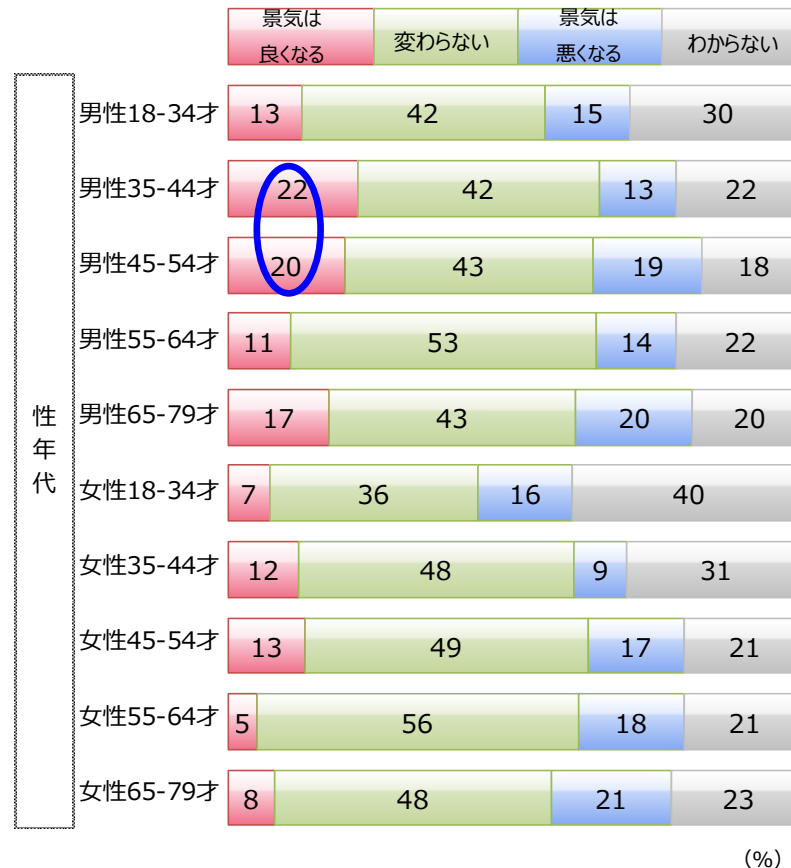
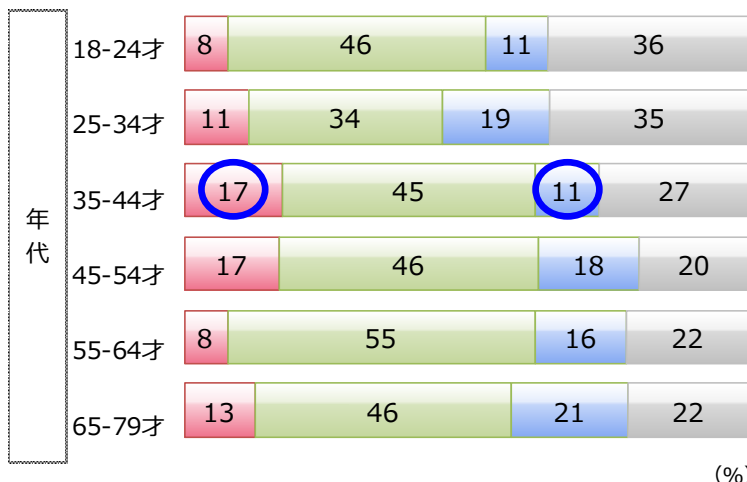
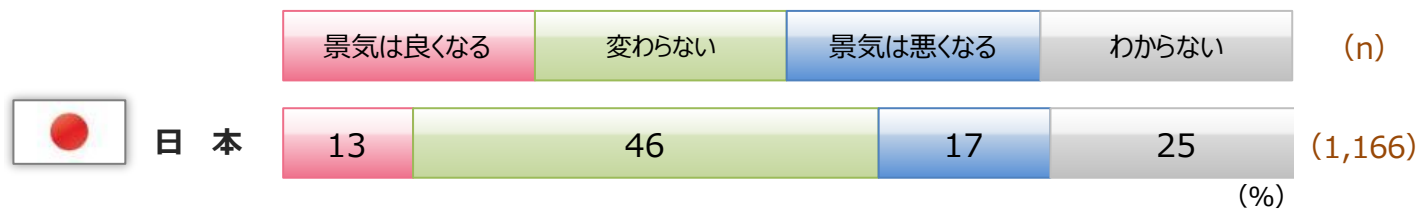


- 2017年が2016年より「景気が良くなる」と「景気は悪くなる」と答えた割合の差の大きい順に並べてみると、上位4か国はコートジボワール、ナイジェリア、ベトナム、インドネシアの順。一方、下位3か国は、イタリア、ギリシャ、トルコとなっている。
- 日本は56か国中29位。

■ 各国の「景気は良くなる」-「景気は悪くなる」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）



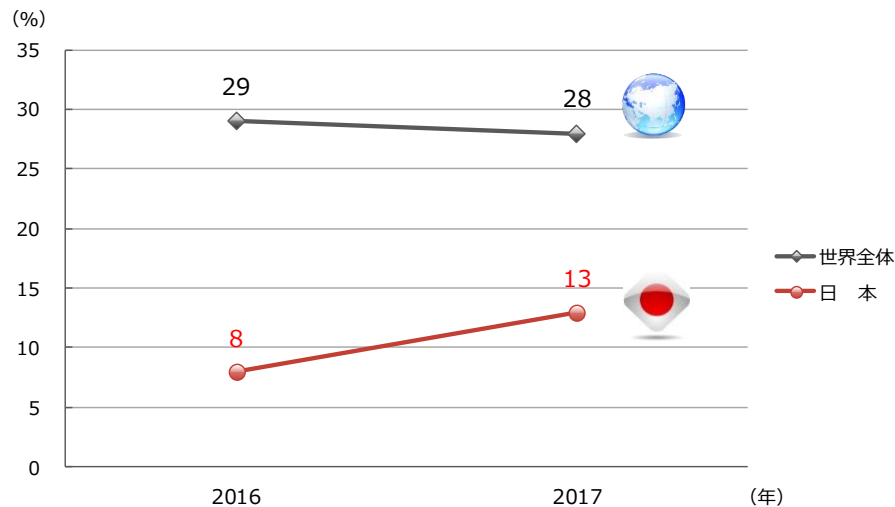
- 日本の結果を年代別にみると、35-44才で、「景気は良くなる」の回答の割合が「景気は悪くなる」の回答の割合を上回る。
- 性年代別にみると、男性の35-54才で、「景気は良くなる」の回答が2割以上と、他の性年代と比べて多い。



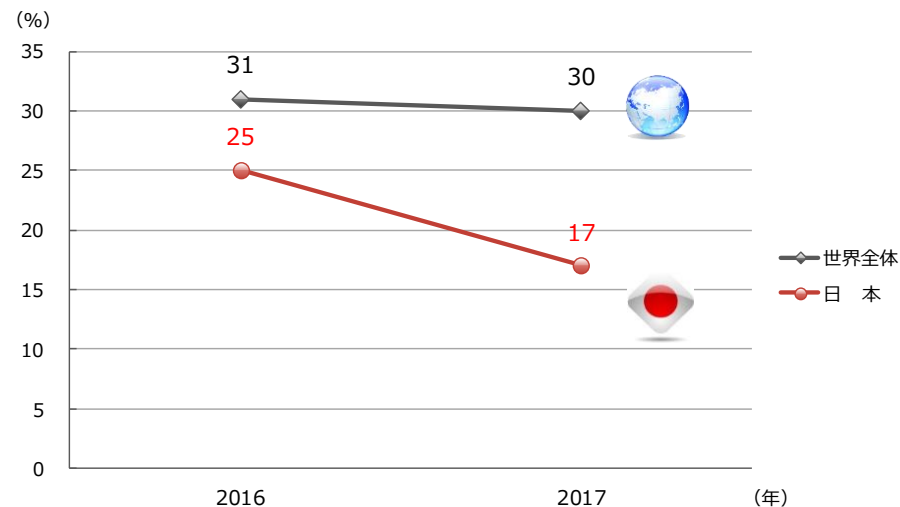
- 2018年が2017年より「景気が良くなる」と答えた割合を前回（2016年）と比べてみると、世界全体では「良くなる」と答えた割合は1ポイントの減少でありあまり変わらない。
- 日本では「良くなる」と答えた割合が5ポイント増加し、「悪くなる」と答えた割合は8ポイント減少。

Q 日本（自分の国）では2017年に比べて、2018年の景気が「良くなる」、「悪くなる」、「変わらない」のいずれだと思いますか。（単数回答）

「景気は良くなる」回答比率推移（世界全体、日本）



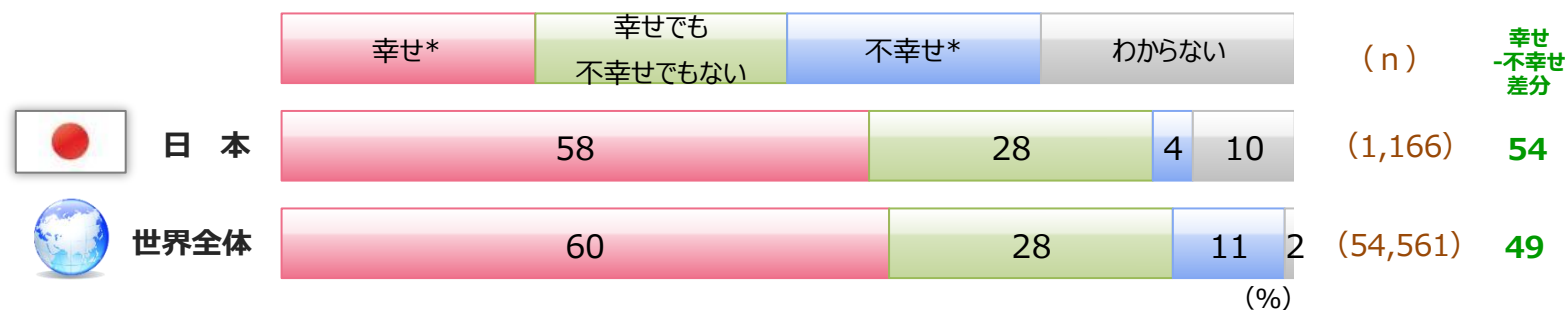
「景気は悪くなる」回答比率推移（世界全体、日本）



日本も世界全体も「幸せ*」が同程度で6割弱。

- 人生が幸せかどうか質問したところ、「幸せ*」と答えた割合は、世界全体も日本も約6割と、大差がない。
- 日本では、良い年の見通しや景気予想についてはポジティブな回答が少なかったが、幸せ感では約6割がポジティブな回答を示した。

Q あなたの人生は、「とても幸せ」、「幸せ」、「幸せでも不幸せでもない」、「不幸せ」、「とても不幸せ」のいずれだと思いますか。(単数回答)

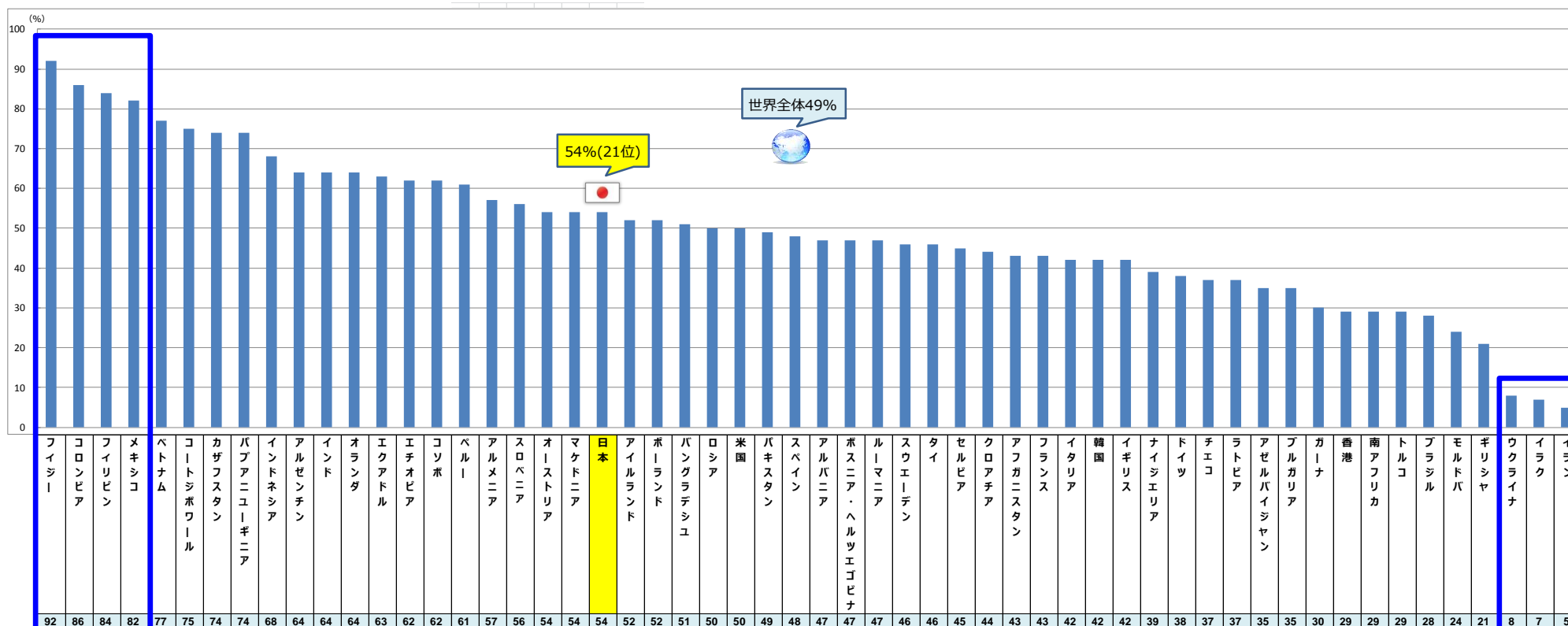


* 幸せ：「とても幸せ」と「幸せ」の計
 * 不幸せ：「とても不幸せ」と「不幸せ」の計

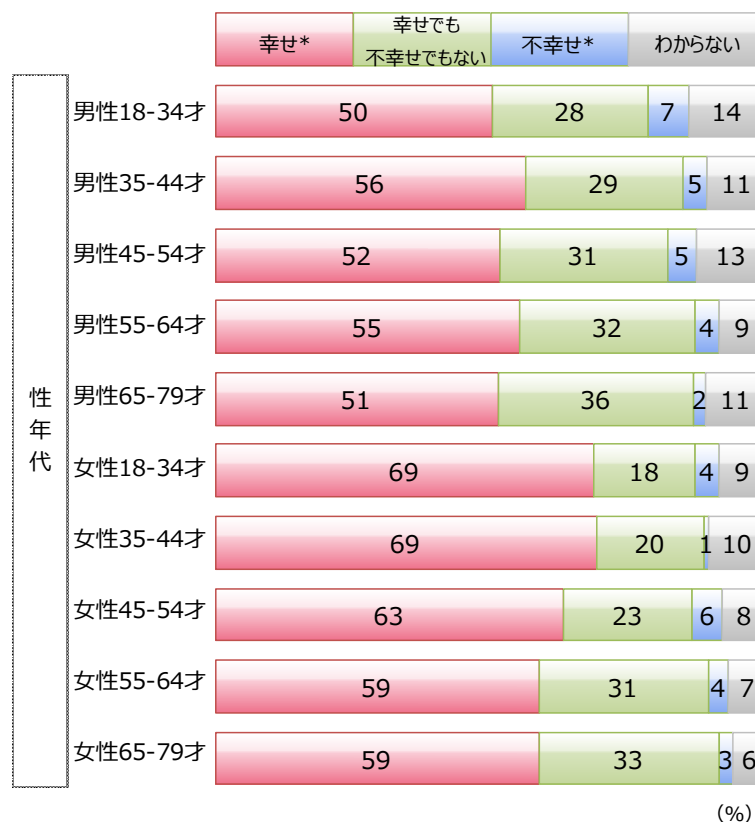
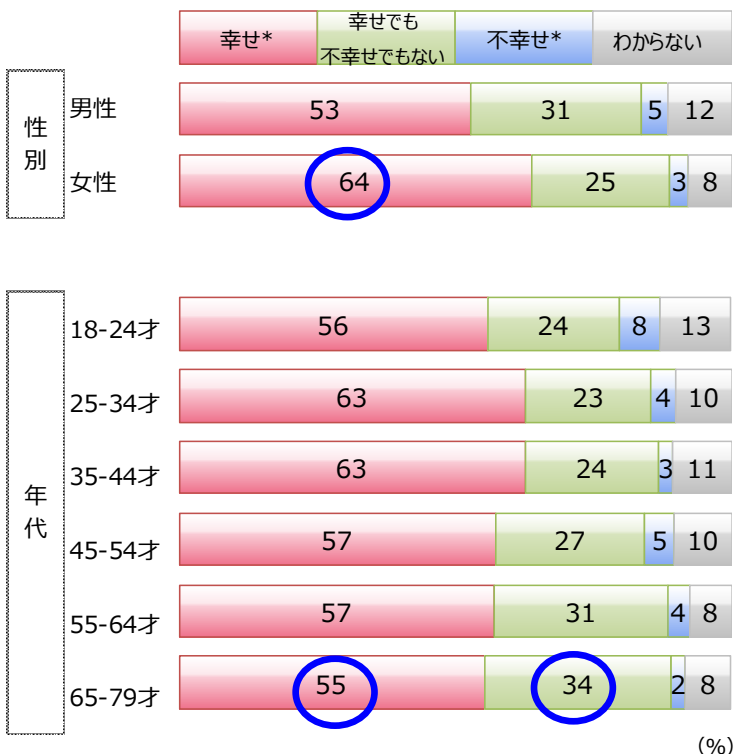
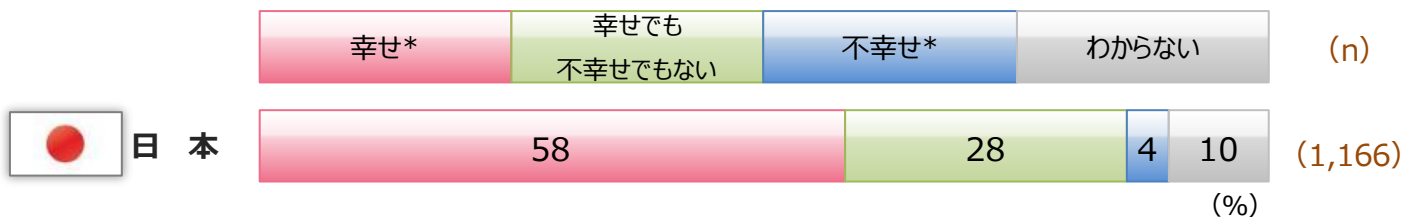
- 「幸せ*」と「不幸せ」と答えた割合の差の大きい順に並べると、上位4位か国は、フィジー、コロンビア、フィリピン、メキシコの順。一方、下位3か国は、イラン、イラク、ウクライナとなっている。
- 日本は、56か国中21位で、世界全体をやや上回る。

■ 各国の「幸せ」-「不幸せ」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）

* 幸せ：「とても幸せ」と「幸せ」の計



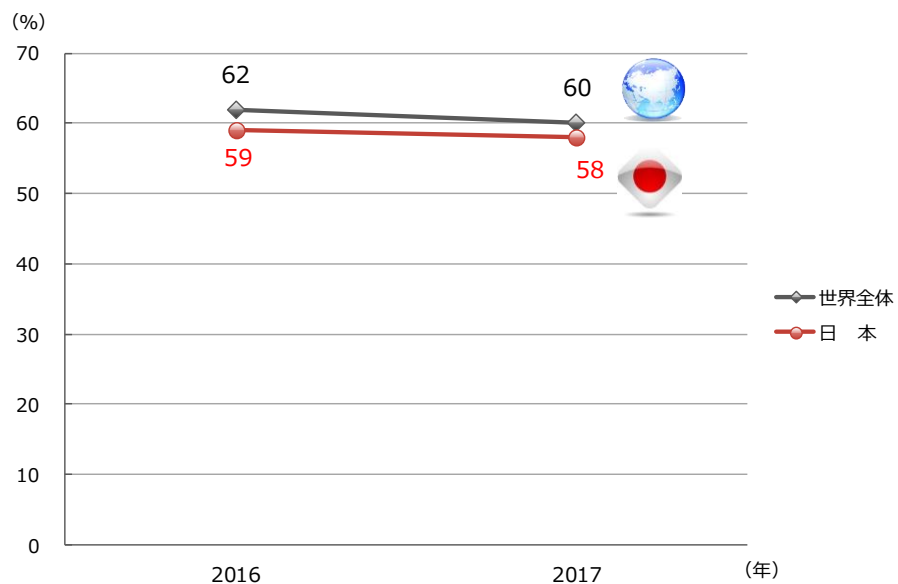
- 日本の結果を男女別にみると、女性は「幸せ*」の回答が64%と、男性より10ポイント以上上回る。
- 年代別にみると、65歳以上で「幸せ*」の割合が少なく、「幸せでも不幸せでもない」が多い。



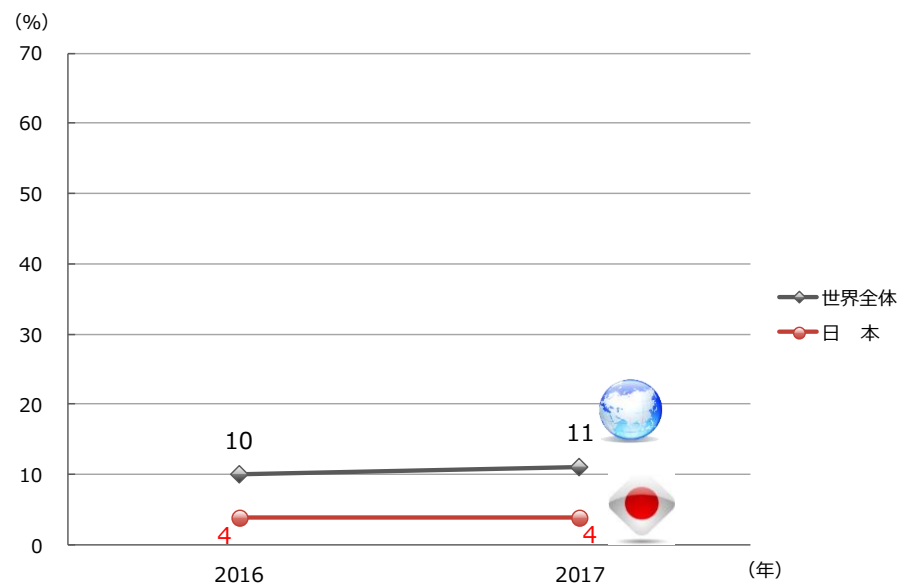
- 「幸せ」と答えた割合を前回（2016年）と比べてみると、世界全体も日本も「幸せ」「不幸せ」と答えた割合に大きな差はみられない。

Q あなたの人生は、「とても幸せ」、「幸せ」、「幸せでも不幸せでもない」、「不幸せ」、「とても不幸せ」のいずれだと思いますか。（単数回答）

「幸せ」回答比率推移(世界全体、日本)



「不幸せ」回答比率推移(世界全体、日本)



● 58カ国の内訳と調査手法及び調査サンプルサイズは、以下の通り。

地域	国	手法	サンプルサイズ
アジア	日本	調査員による個別訪問留置調査	1,166
	インド	CATI	1,006
	インドネシア	Online	1,026
	韓国	F2F	1,500
	タイ	F2F	600
	パキスタン	F2F	1,000
	バングラデシュ	CATI	1,030
	フィリピン	PAPI	1,000
	ベトナム	PAPI	1,000
	香港	Online	500
大洋州	オーストラリア	Online	1,458
	ニュージーランド	Online	1,233
	バプアニューギニア	CATI	1,013
	フィジー	CATI	515
北米	アメリカ合衆国	Online	1,014
中南米	アルゼンチン	F2F / CATI	1,004
	エクアドル	F2F	742
	コロンビア	CATI	1,000
	ブラジル	F2F / TAPI	2,002
	ペルー	F2F	1,203
	メキシコ	F2F / TAPI	802
中東	アフガニスタン	F2F	1,723
	イラク	F2F	900
	イラン	CATI	719
	トルコ	CATI	867
アフリカ	エチオピア	CATI	1,000
	ガーナ	F2F	1,000
	コートジボワール	CATI	800
	ナイジェリア	F2F	801
南アフリカ	Online	1,082	

地域	国	手法	サンプルサイズ
欧州	アイルランド	Online	1,001
	アゼルバイジャン	CAWI	600
	アルバニア	TAPI	999
	アルメニア	CAPI	1,108
	イギリス	Online	1,004
	イタリア	CAPI	1,186
	ウクライナ	Online	500
	オーストリア	CAWI	1,010
	オランダ	Online	1,027
	カザフスタン	CAPI	1,000
	ギリシャ	CATI	1,002
	クロアチア	Online	503
	コソボ	TAPI	981
	スウェーデン	Online	1,015
	スペイン	Online	1,016
	スロベニア	Online	501
	セルビア	F2F	1,011
	チェコ	F2F	1,000
	ドイツ	Online	1,000
	フランス	Online	1,066
	ブルガリア	F2F	774
	ポーランド	F2F	1,003
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	CATI	1,000
	マケドニア	F2F	1,210
	モルドバ	TAPI	1,000
	ラトビア	Online	1,005
	ルーマニア	CATI	530
ロシア	F2F	1,502	

58か国合計 (問1)	57,260
56か国合計 (問2、問3)	54,569

● 日本の属性別調査サンプルサイズは、以下の通り。

日本	属性	サンプルサイズ
性別	男性	574
	女性	592
年代別	18-24才	118
	25-34才	158
	35-44才	219
	45-54才	185
	55-64才	198
	65-79才	288
性年代別	男性18-24才	58
	男性25-34才	77
	男性35-44才	112
	男性45-54才	95
	男性55-64才	94
	男性65-79才	138
	女性18-24才	60
	女性25-34才	81
	女性35-44才	107
	女性45-54才	90
女性55-64才	104	
女性65-79才	150	

※問1 (2018年の見通し)は、全58カ国が参加。

問2 (景気見通し)と問3 (幸福感)は、オーストラリアとニュージーランドを除く56カ国が参加。

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：(株) 日本リサーチセンター広報室

エンド・オブ・イヤーサーベイ2017 担当

メール：information@nrc.co.jp

TEL: 03-6667-3139(WIN/GIA担当 下瀬川・道広)

本リリースの引用・掲載の際は、必ずクレジットを明記してください。

調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットを掲載してください。